

五行歌集『緑の星』を上梓しました！

五行で書けばOK、日々の思いをそのまま綴ればいいという、五行歌(ごぎ) ようか…五行で書く短い詩。

このたび、私はそんな五行歌の作品集『緑の星』(市井社・そらまめ文庫)を上梓しました。新書版で、101頁。掌にのせれば、あれ?と思うような、軽い小さな歌集です。昨年に上梓した五行歌集『コケッコの妻』より以前に作った141首の作品を収めています。

夢の中で

羽がはえて

私は

蝶だ

既に、飛翔を知っている

(ドリームワーク〜蝶〜)

手を持って 一緒に

ひらがなの練習をしてる時

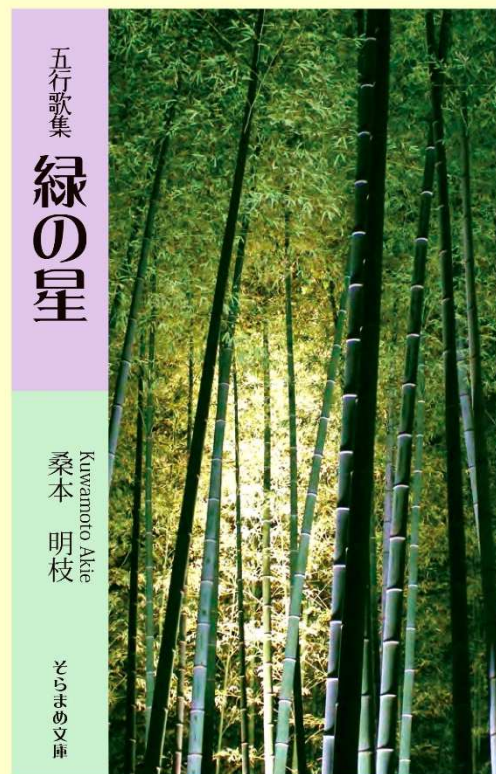
「お母さんのこと 好き?」と聞いてみた

おかあさんが すきすきすきすきすきすきすきすき

涙が あふれる

(共に生きる世界へ)

(※裏表紙に続く)



- ✎ 五行歌集『緑の星』を上梓しました！
- ✎ 天国への階段 十一 人間は面白い
- ✎ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介
お一人様で読むことをオススメします「ギャグマンガ」特集！
- ✎ 同志募集 !! 奥能登福祉農園 (3)
- ✎ 原発賠償関西訴訟第 34 回期日の報告
- ✎ 秀作エッセイ「家族・父」
- ✎ 父との最期の時
- ✎ イベント紹介
- ✎ 編集局より/会計報告

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



人間は面白い

「天国への階段」(十一) 鶴島緋沙子

近頃、もの忘れの傾向が急上昇。あれ！こんなところにこんなものが置いてある。だれの所為でもない。自分の仕業だ。

本来片付け魔と自認している私だから、出したものは必ず元の置き場に戻るのが習癖だと思っていたのだが、元来の性向が、変化しているのだ。

人生八十八年も生きてると性格も変化するのだろうか。いよいよ自他共に、“後期高齢者”の仲間入りしたものだとは自覚。

と言いながらも未練がましく、否定の条件を、無理やり考案。

うん、何より食欲旺盛、三度の食事時間が近づくと、“さあて何を食べよっかな”と胸躍らせて冷蔵庫の扉を開ける婆さんの私がいる。

え！ ない！

ああ、そうか。あれは昨日のランチにさややかなどんぶりにして、すでに体の中にはいなかったのだった。大好きな鰻くん。え！ほんとかな、尚未練気に冷蔵庫の奥に手を伸ばす私。八十八歳の老婆の我が身が、何だか哀れだ。

だがしかし、おのれ一人の昼食に“鰻どんぶり”をイメージする我が食欲に乾杯！

思えば、この地球上に共に生息するたくさんの動物、植物に支えられてきた八十八歳の命。よくぞ、生きてきた。と改めて感無量。

そんなままでして、生存意欲の強い人間という生き物なのに、どうして、お互いに殺し合う戦争なんてものをやらかすのだろう。たくさん人間以外の命を犠牲にして己の生存を願いながら、その人間同士が殺し合って、何が解決するっていうのだろう。

思えば国民学校(小学校)入学の時に、今じゃアメリカ様々の日本だけれど、当時は、“鬼畜米英”とか叫んで小学生の私達まで、なぎなたの稽古をさせられたものだった。

そんなこんなを思うと、テレビの声を聞きながら鰻どんぶりに舌つづみを打つ今日の幸せに感謝といきますか。

それなのに、いまだに同じ人間同士の殺し合いという哀しい現実が、この狭い地球上に絶えないのは、どういうことだろう。

だがしかし、どんなに好き合って生涯を共になんて誓い合って夫婦になっても、一年も経たずに別れる人もいれば、「嫌だ、もうあんな人のいる家には、二度と帰らない」といいながら、二度どころか、三度も四度も帰って

行く人もいる。

と思うと、一方には行きずりの人と、一夜を共にし、結婚し、七人もの子どもを持ったという人もいる。

人間は面白い。今度は、こんな人生を！と夢見ても、もう私という人間は、二度と生まれてこない。



鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」(つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。『トミーの夕陽』がまた昇る『私の中の瀬戸内寂聴』『もぐらの目』など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の元代表。

STEMz マンガ文庫 蔵書紹介

お一人様で読むことをオススメします「ギャグマンガ」特集！

ようやく暑苦しい夏が終わり、秋らしい気候になってきた今日この頃。長引くコロナが影響しているのか、明るいニュースをキャッチする力が衰えているのか、気持ちがイマイチ晴れない日々が続いているのは私だけでしょうか……。

あれこれダメだ、こうしなきゃという気持ち。怒りや悲しみ、辛いといったネガティブパワーが時には必要なときもあります。一方で、あれもしたい、これもしたい、未来や自分に期待する気持ちがあるときのポジティブパワーを原動力にガンガン突っ走ったことがある方からすると、ポジティブパワーの威力は計り知れないものがありますよね。

「ネガティブが板についちゃった」「ちょっと気持ちが落ち込みがちなのよね」そんな方に、ガハガハ笑える作品を紹介します。笑えるって心のバロメーターだと思うから。

「愛すべきバカとはこういうことだよね」「くだらないー」なんて悪態つきながら、ぜひ読んでほしいです。

女の園の星 著：和山やま 既刊2巻 蔵書1巻



この面白さは癖になる！爆笑必至な女子校教師を描いたギャグマンガです。いい意味で最高にくだらない。箸が転んでもおかしいお年頃的女子高生たちの脳内をのぞき見してみませんか？なーんてことのない日常が面白おかしく愛おしく感じられる！ハズ！

新人漫画家でありながら、近年のマンガ賞を総なめにした逸材の作品です。『鬼滅の刃』も新人漫画家でしたが、今この時代に脚光を浴びる新人漫画家のレベルの高さにビビります。

これもマンガ大国日本で育ったアイデンティティーがなせる技なのかもしれません！

おにぎり通信～ダメママ日記～ 著：二ノ宮知子 全3巻 蔵書3巻



『のだめカンタービレ』でおなじみの二ノ宮先生の、喜劇のような二ノ宮ファミリーの日常を描いた作品です。

ふたりの男の子の子育て、そして二ノ宮先生自身の子ども時代までさかのぼって描く二ノ宮ファミリーの笑い溢れるノンフィクションコミックとなっています！くれぐれも人前で読まないことをお勧めします！

家事も育児もぜんぶ旦那におまかせ。日々仕事と家事・育児の両立に疲労困憊しているママさんからすると夢のような家庭環境かもしれませんね。『のだめカンタービレ』ののだめが実在したらこんなママなのかも！？と、錯覚してしまうくらい、ダメダメママの日常に、却って腹立たしくなる方もいるかもしれません。イラッときたら手抜きをしましょう。「こんなママもありなら私って全然イケてるじゃん」そう思うことにしましょう！

他人の子どもであっても子どもネタは微笑ましいもの……。子どもあるあるなエピソードと突如やってくる笑いを堪えているうちに疲れた心が癒やされるはず！

性教育120% 原作：田滝きさき 作画：ほとむら 全3巻 蔵書2巻



現代の性教育に疑問を持つ保健体育教師・辻先生は、赴任先の女子高で彼女もち女子、BL好き女子、ただの猫好き女子などを相手に、大胆な性教育を試みるー!!

「女の子同士の安全なセックスって?」「前向きなオナニー?」「フクロモモンガに膣が3つあるのはどうして?」下ネタ以上、マジメ未滿。セックスエデュケーションコメディ。

「面白おかしくしたらアカン」「ちゃんと教育せな」性教育ってなんかお堅くないですか？性教育への敷居の高さに一石を投じる作品です。うんこドリルが大流行したように、大人になる途中の人たちにとって、下ネタは公用語でした。「人前でそんなこと言っちゃダメ」と親が言わなくてもよくなる頃には、日常的に興味として持っていたその気持ちは一体どこにいったのかな？なくなっちゃうのかしら？いいえ、そんなことはありません！

入り口はなんであれ、正しい知識を持つことが大事だと思うから……。ギャグマンガ×性教育。一家に一冊いかがでしょうか！？

(みんなでつくる学童STEMs そふえ)

[STEMz マンガ文庫]で検索！

同志募集 !! 奥能登福祉農園 (3) タイムトンネルの向こうの異空間

私は、小・中・高校時代 21歳まで、枚方市に住み、枚方市で育ちました。現在、奥能登・輪島市の山村にある主人の実家・ポツンと一軒家に住んでいます。

現在、奥能登も、人口減少のスピードが早く、空き家や耕作放棄地が増えています。でも、今年も猛暑ですよね。輪島市は、夏は枚方より5度くらい涼しく、山の我が村は、エアコン不要です。

枚方市民の避暑地にも良いのではないのでしょうか。自然の風っていいですね。畑に出て野菜や果樹を育てる時間って、本当に楽しいです。(虫対策など、生活の知恵が必要ですが)近所で釣りもできます。

近年、元気のない若者・引きこもり・睡眠障害などの若い人が急増していますが、本人もそれを見守るご家族も、とても辛いことは、私も体験しております。でも、私たち親子は、さまざまな多くの方に助けていただき、危機を乗り越えることができました。それで、恩返しができないかと近所の障害者施設の活動に関わって、模索してきました。

実は、まず奥能登に、そんな若い人のための畑つきシェアハウスを作ってはどうかとの思いがあります。土地も中古物件も超安いのです。

引きこもる姿を見て、一番辛く感情的になってしまうのは親なので、距離を置けたらいいですよ。親から離れた方が、症状が改善する場合も多いと思います。

他人の方が、気楽な関係でおれる場合も割とあると思います。頼れる親戚の理解あるおばちゃんがいればいいのですが、いないですよ。

と言っても、立地は病院の近くがいいし、多少世話をする人も必要だし、考え方もまちまちで調整も大変だし、シェアハウスも、簡単ではありませんよね。

それに、元気になると新たな問題・苦悩も出てきますし、どうなんでしょうか。

障害者グループホームというのも急増してますし、そちらを考えた方がいいのかもしれませんが、まず最初に、障害者だけど程度の軽い人・障害者認定をもらっていない人のためのシェアハウスを夢想しています。

シェアハウスで、親から自立することによって、精神的にも自立し、調理・家事などの生活技術の一つ一つ習得し、小さな自信を増やす。

それから、元気回復したシェアハウスの住人



の再就職先(パートタイム)として、国から補助金をいただいて、グループホームや障害者(重度も含めて)の果樹園農園の建設を……と夢が続く私です。

引きこもりになったり、うつになる青年って、やさしいやさしい人が多いのです。思いやりがある人が多いので、より重い障害の人のお世話ができると、体験上思います。

誰か、障害者が働く果樹園(キウイ・柿・梅・すもも等)とか各種農園を、私の広大な所有地で一緒に始めないかなと思ってます。所有地は、山の中の耕作放棄地なので、タダみたいな金額で譲渡します。不便ならば、ふもとの土地を購入しても、金額的には非常に安いのです。

比較的、水に恵まれた地域です。

収穫した農産物は、枚方で売りましょう。冬の寒い時期は、枚方で都会生活を味わいつつ、販路の開拓できたらいいですね。

でも、この妄想、実現は大変～～～ですね！！

とてもとても、ちっぽけな私一人では、実現は無理ですが、どなたか、強く共感してくださる方はいないでしょうか。

今回は、イノシシや猟師さんのことも書かなくてはいけないなと考えてます。

文/鴻 章子(旧姓 広瀬)



～「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判～ 原発賠償関西訴訟第34回期日の報告

7月28日(木)大阪地方裁判所で原発賠償関西訴訟第34回期日が開かれました。これは、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが、国と東京電力(以下、東電)に対し、事故の真相究明と責任の追及、損害の完全賠償、被災者全員への暮らしの支援を求める裁判です。

5月末、新型コロナウイルス感染予防のため使用制限されてきた裁判所の傍聴席の制限が解除され、傍聴席全席が使用できるようになりました。そのためこの日傍聴席の抽選は行われましたが、傍聴を希望して集まった約40名は全員法廷に入ることができました。また、法廷と同時刻に行われた模擬法廷、続いて行われた報告集会はZoomとYouTubeで配信され、Zoom参加者は23名(運営側3名含む)、YouTubeライブ配信の視聴者は9名でした。

法廷では、原告から準備書面87「低線量被ばくの健康影響に関する近時の科学的知見について」が提出され、被告からの準備書面提出はなし。裁判官が変わったことにより、弁論の更新*のプレゼンが行われました。プレゼンでは、原告らの被侵害権利について、また原告らの避難の相当性に関する主張と弁済の抗弁に対する反論が述べられ、2014年9月14日第1回期日より8年近くにわたる裁判での原告の主張がわかりやすく伝えられました。

続いて近くの別会場で報告集회가開催。コロナ禍以来人数制限を気にせず開く報告集会は約2年ぶりです。リアルで語れるという特別の思いで、原告7人が前に出て今の気持ちを語りました。

これまでを振り返り深い思いを語る原告の方々のお話が次々発表されるなかで、とりわけ汚染水の調査のためのサンプリングに同行した原告・Aさんの報告が強く心を打ちました。原発事故前にはいわき市に住みサーフィンに熱中していたAさん、すごく海に入りたいたけど、福島をほっといて

他の県の海には入れないと言います。7月19日「認定NPO法人いわき放射能市民測定室 たらちね」のサンプリング採取の船に同乗しました。富岡港から出航し浜通りの海岸を北上すると、断崖絶壁が続くなかところどころ岩盤から地下水がだーっと流れ落ちて来る、そんな景色を見ながら進んでいくと、福島第一原発が見えてきた、岩盤を削って海側におろしたところに建っている、海から見ると殆ど海面に見えるところに、ぼろぼろの原発建屋が見える、サーフィンをやった自分は「原発が悪い」と思ってた、でも海から見ると「原発があって、人の営みがある」「原発は愛されてきたんだな」と思った、「地域の人たちと一緒に、愛されてきたんだ」と。そして、原発がすごくかわいそうに見えた、愛おしく見えてきた、岩盤を削って自然界の素材を使って、原発を建てた、人間の浅はかさと傲慢さが、はっきり目に見えて映った、とAさん。「僕らが向き合って闘わなあかんの、原発じゃなくて、人間なんだなと思った」。その言葉に皆静かに聞き入りました。

一方、原告団副代表からは、海洋汚染水の放出についてのお話が。「ニュースでは決定事項として扱われているが、県全漁連の同意がなければ進められない。しかし、漁連は海洋放出に同意していない。もう決まったのだと思って、諦めてしまったらおしまい」との言葉に、大きくうなずきました。

原発賠償関西訴訟の次回第35回期日は、大阪地方裁判所で9月15日(木)午後2時開廷予定です。

(文/豊高明枝)

*裁判官が変わったときに、従前の口頭弁論の結果を当事者が陳述して「弁論の更新」が行われて引き継がれる。

家族・父

金城 晴八（かねしろ せいはち）

私が生まれ育った大阪の下町の生活で、両親が沖縄の言葉（方言、しまくとぅば）を話していたという記憶がない。私が幼かったからだろうか。姉は少し方言を解していたので、母と姉が方言で会話していたのかも知れない。それでも私が知っている方言がいくつもある。「へ〜がき、ぶんじら〜、ぬ〜やが」である。これは大変乱暴な言葉で、三つ目の言葉以外、普段は使わない。理由もなく兄や私の頭を小突きながら、酔っぱらった父が使っていたのだ。沖縄県人会からのお達しで、人前では方言を使うな、夜中に三線を弾くな、泡盛は控えろ、と言われていた。三線が弾けない父が守れたのはこれ一つだけだった。まして、泡盛を控えることは父には到底出来ない相談であった。因みに、私の知っている方言の意味だが、「頭のかぶれ」できもの、棒きれ、何だ」である。例えば、父に棒きれで頭を叩かれてできたできものを指さして、「ぬ〜やが、おつと〜ぬ、ぶんじら〜で叩かれ、できたへ〜がさ〜ぬ」と言うのだと思うが、ちょっと自信はない。

ともあれ、父は酒を飲んで日頃の鬱憤を晴

らすことが多いようだったので、酒の席では仲間が疎んじられていたという噂を聞いたことがある。酔っぱらった父が帰宅すると、大急ぎで部屋の隅っこに隠れたものだ。

沖縄島南部で生まれ、青年時代には中国南部の海南島へ開拓団の一員として渡った後、沖縄から召集令状が追いかけてきたそうだが仕方なく、沖縄に戻り、陸軍に入隊し、寒い満州に工兵として送られたと話してくれた。敗戦により帰国後、母が敷金を工面し、大阪の下町に住まいを構え、材木運搬業を始めた。しかし、仲間に運転資金を持ち逃げされ、事業が頓挫し莫大な借金を抱えてしまった。それにもめげず、懸命に働き、借金を払い終えた。父は偉いと思う。

このような父だが、酒の席上で鬱憤晴らしをしたり、子ども達に手を上げるのは、許せるのではなからうかと、今は思う。

「大阪府高齢者大学」文章講座卒業
生でつくる「鶴島学校」の金城 晴
八さんの作品です。講師をつとめる
鶴島緋沙子さんの推奨作品。



父との最期の時

松本知恵子 (筆名 ちえこ)

父は、人生の最期に当たって、

延命治療の拒否と葬儀不要とい

うことを書き残していました。私

たち姉妹も父の意志を尊重し、入

所先の特養に伝えていました。

父の嚙下が難しくなった時、特

養での看取りが始まりました。コ

ロナ禍ではありましたが、施設の

特別な計らいで、毎日父の面会に

通いました。

父は、私たち姉妹に最後まで生

きる姿を見せてくれました。しっ

5月6日

特養で

看取りに入る

手厚い介護で

感謝しかない

永遠に続く

明日は無い

それでも

父に声かける

「また明日来るね」

声をかけると

うっすらと

目を開ける父

頷く父

私たちつながってる

看取り開始から

1週間

少しづつ 少しづつ

枯れていく

父

「娘さんが来るから

頑張ってる」

最期の日 何度も

父に声かけしてくれていた

介護職員

息を引き取る

6時間前

指を動かし

口をパクパクした父

何を言いたかったの

長女の誕生日をお祝い後

しばらくして

特養から電話

孫の誕生日を待って

逝った父

痛みも苦しみもなく

スーッと

旅立った

看取りから

12日目

延命治療拒否

葬儀不要

希望通りの

幸せな

父の最期

職員の皆さんが

手向けたお花に

囲まれて

特養の正面玄関から

出棺

最期まで

生ききった

父の姿を

見せてもらった

看取りの時間

看取りは

死ぬのを待つ時ではない

神さまが定めた

最期の時まで

生きる時間

イベント・サークル・ボランティア情報

枚方自閉症児(者)親の会 学習会

お母さん、障害のある子どもの子育てを一人で悩んでいませんか？

- ◆日時 9月14日(水) 10:30~15:00
 - ◆会場 ラポールひらかた 3F 研修室1
 - ◆内容
 - 1部 学習会(10:30~12:00)
「自閉症と診断された息子との40年の話」松崎有希子
(枚方自閉症児(者)親の会代表)
その後、フリートーク
 - 2部 懇親会(13:00~15:00)
みんなで話し合おう
 - ◆参加費 無料
 - ◆問合せ 松崎 072-845-3014
井村 090-9167-7187 (ショートメールで)
- ※参加者に『障害のある子どもの小学校入学ガイド Q&A』冊子を無料でプレゼントします。

NPO法人 大阪府民カレッジ ひらかた校 令和5年度(第7期)受講生募集のお知らせ

- 地域を学び体験を通じて地元の魅力を再発見し、地域愛の醸成を図るとともに地域参加の手法を学び新たなまちづくりの担い手を目指すシニアを支援する講座です。
- 大阪府知事がボランティアとして活動するシニアアドバイザー(ボランティア等で活躍するシニア)として認定する養成校です。
- ◆講座期間: 令和5年4月~令和6年3月
 - ◆募集期間: 令和4年10月11日~令和5年3月20日
(定員になり次第締切り)
 - ◆申込方法: 申込書を郵送又は持参
ホームページ(<https://www.fumin-college.com/>)の専用フォーム
 - ◆募集要項: 市内生涯学習市民センター等の各施設に配架あり、又は、下記問合せ先にご一報お願いします。
 - ◆受講料: 年間29,000円(年間24回 午前・午後の各2時間)
 - ◆校外学習・実習材料費など別途負担あります。
 - ◆授業日: 水曜日
 - ◆講座説明会: 10月1日(土)10:30~ 場所: ラポール枚方
12月3日(土)10:30~ (定員になれば中止)
 - ◆問合せ先: NPO法人大阪府民カレッジ事務局
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂1-1-35
大阪市教育会館内
TEL: 06-6360-4565 FAX: 06-6360-4410

【参加者募集】放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

- 子どものことで、迷ったときに相談したり、悩みを打ち明けられる場があればいいなあ……。
- そんな思いで集っています。支援者を交えて、気楽におしゃべり情報交換しませんか。
- 午後からは、身体ほぐしのレッスンをを行います。
- ◆日時: 10月14日(金)
 - ◆場所: ラポールひらかた3階和室
10:30~12:30 情報交換会(遅刻早退OK、出入り自由)
13:00~14:00 身体ほぐしのフェルデンレッスン(要予約)
タオルと水分各自持参。動きやすい服装で行います。
 - ◆参加費: 無料
 - ◆問合せ: c-k@love-dugong.net または、
090-5893-5635 (16時以降 豊高)
- 下記ブログにて、随時情報を掲載しています。
<https://ameblo.jp/challengekids81573/>
('チャレンジ・キッズ')「アメブロ」で検索してください



応援ありがとうございます♪

LIP応援団

匿名希望さん

LIP会計報告(前号以降)

金額(円)	内容
46,747	前号から繰り越し
2,000	広告代
1,000	寄付
▼420	郵送代
▼500	ロッカー代
▼3990	8月号印刷代
44,837	計(次号へ繰り越し)

STOP WAR

(※表紙から続く)
心象風景から始まり、障害を持つ息子のこと、夫との関係、そして、戦争や、実験動物のことなど、作品のテーマは、身近なところから、地球環境、天地創造にまでおよびます。

皇軍の
兵士は 殴られ損で
殴り倒し
便所の匂いのする言葉
私たちの国民性が 突き進む (緑の星)

読んで、「怖い」と言われた方がいます。「でも、その続きに希望が見える」とも。
実はこの歌集は、約13年前よりとれど出版部から4度にわたり手作り出版で発行されたものをベースに再構成したものです。作品1首を加え、構成を変えて、読みやすくしました。

五行歌集『緑の星』は、定価880円。Amazonや書店から注文できます。
『コケッコの妻』も併せてどうぞよろしく願っています。
桑本明枝



枚方コーン

デビューしちゃう？

【ひらつーパートナー・ライト】

月額 5,610円

詳しくはコチラ➡➡



イラスト 表紙, P6: 平井由恵